

新春あいさつ

安心・楽しく暮らせる

御代田を皆さまと一緒に



町長 小園拓志

あけましておめでとうございませう。暦が一回りして令和2年の今年が子年。町づくりへの志を大きく掲げつつ、ネズミのごとくきめ細かく動いていく一年にしたいと思っております。町民の皆さまにおかれましては、健やかに過ごされることを祈念するとともに、忌憚なくご指導、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

昨年は10月に台風第19号の被害があり、今も町内の至るところにその爪跡が残っています。しばらくは、復旧そして改良に向けた取り組みが続いてまいります。それとともに、今後の防災力アップのための取り組みが必要です。私は一昨年の9月、まだ札幌にいたころ

北海道胆振東部地震に遭い、震度7を記録した厚真町にボランティアに行きました。その際、避難所のプライバシー確保の重要性を痛感しました。長野県内の避難所では、避難者のプライバシー確保が相当遅れています。高齢者の場合はストレスが死に直結する場合もあり、日ごろからの備えで、町民の命を守らなくてはと考えております。

台風被害を訴える町や個人のSNSの発信などを通じて御代田町を知ってくださった方も多く、8月ごろからテコ入れしてきた「ふるさと納税」にもかなりの浄財が集まりました。本年度の4月から11月までの金額が、昨年度1年分の総額を超えております。また、昨

春から役場内でドローン操縦者を養成していただきました。被災箇所撮影などで大活躍中です。いずれのケースも、日常的な「備え」が緊急時に役立つ例だと思えます。今後も、日常的に「万一」を意識しつつ町づくりを前へと進めていきます。

子育て・教育、高齢者や障がい者の福祉、産業振興、インフラ整備、文化・スポーツの推進など、重要な施策を同時多発的に進めていき、安心に暮らせる御代田、そして楽しく暮らせる御代田を皆さまと一緒につくってまいりたいと思っております。新年度に向けて、町づくりを前に進める策を引き続き考え、皆さまにお示ししてまいります。それでは今年もよろしくお願いいたします。

新時代に期待される町へ



議長 五味高明

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい令和最初の新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日ごろから、議会に対しましてご支援ご協力をいただいておりますことに、議会を代表しまして、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、実に色々なことがありました。天皇陛下の退位と皇太子さまの即位により、平成は終わり、令和へと新たな時代が始まりました。

また、春の統一地方選と夏の参院選が12年に1度重なる「亥年選挙」の政治決戦の年でもありました。10月からは、消費税率が8%から10%に引き上げられ消費への影響が懸念されました。スポーツでは、ラグビーW杯日本大会は、日本代表の躍進もあり感動と熱狂を日本中に与えてくれました。

一方、九州北部地方を中心とした記録的大雨、台風15号および19号の自然災害が断続的に猛威を振るい、甚大な被害をもたらした年でもありました。ただ、リチウムイオン電池を開発した吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞するといううれしいニュースもありました。

町に目を向けますと、一番の出来事は、2月に行われた町長選挙で、12年続いた茂木町政が終わり、新町長が誕生したこと。新町長には、公約を着実に遂行していくことはもちろんであります。令和新時代にふさわしい町政の舵取りを期待しております。

この他、町事業としては、第1回浅間国際フォトフェスティバルが、町とアマナの共同で開催されました。交流人口の増加などで、町のさらなるブランディング効果も期待したいところです。さて、新しい年はどのような年になるのでしょうか。

今年の干支は、「庚子（かのえ・ね）」です。十二支でいちばん最初に来る「子年（ねどし）」は、繁栄の年です。経済では株価が上がり、世の中も盛り上がり、とされています。実際、今年は、東京五輪・パラリンピックがあります。国の威信をかけて成功させなければなりません。

町においても、2年目を迎えられる町長の行政手腕に期待し、新時代に向けて大きく飛躍していきたいものです。議会にあっては、「議会改革検討委員会」を設け、開かれた魅力ある議会の構築を目指し活動していく所存です。ご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、この一年が町にとりまして希望のある素晴らしい年となりますこと、町民の皆さまにとりまして、平穏で実りある輝かしい年となりますことをご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。